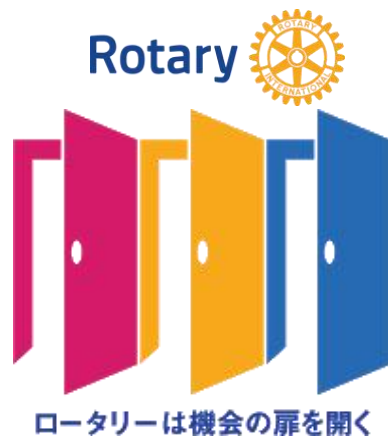


相模原中 R C 会報

第 2046 回例会

8月4日 No.5

会長 佐々木 敏尚 幹事 小崎 直利



ロータリーは機会の扉を開く

●友好クラブ

韓国・龍仁ロータリークラブ
国際ロータリー第 3600 地区
台湾・台中文心ロータリークラブ
国際ロータリー第 3461 地区

●姉妹クラブ

千曲川ロータリークラブ
国際ロータリー第 2600 地区

●提唱インターアクトクラブ

光明学園相模原高等学校



卓話「人生100年、未だ78歳」

丸子 勝基

これからどう生きる？

日本人の平均寿命は、女性は 87.45 歳、男性は 81.41 歳。私はまだ 78 歳 5 か月。本日の卓話は、最初に丸子のこれまでの人生を簡単に振り返り、その後、喜寿を超えたこれからの人生をどう生きるかという話でまとめた。

しかし、この卓話でお伝えしたいのは、ご自分の人生計画を考える場合に、定年が伸びて 70 歳になっても、100 歳まで人生は続く事を認識して下さい、ということです。従って、今やっている仕事は 80 歳になっても、90 歳になっても続ける意識が重要だと思います。私より若い人が多いですが「人生は長いようで短い。短いようで長い。」何かの参考になればと思います。

事業から離れ、自分はこれからどう生きるかが問題になってきました。会社を譲渡した時は、正直なところ将来についての認識が甘かったようです。特別な計画はありませんでした。漠然としていました。

経済的には、会社を手離したお金で贅沢さえしなければ何とか生きていけるだろう。毎週 1 回はゴルフ場に行くか、理想的だな、と呑気に考えていました。

しかし全く会社に行かなくなった時、人との接点が無くなった時、自分は今、何をやっているのだろう。会社にいた時は忙しかったものが、

何も無くなり、大げさに言えば心に穴が開いたような心境になって、これは危ないと思いましたね。

それと同時に社長業を 20 年もやると、社長業という魅力を忘れられない。「社長と何とかは一度やるとやめられない」という。もう一度何かやりたい、しかし何ができるか、これからやるのにもう材料を仕入れたり、人を採用したりということはしたくない。

それならこれまでの経験を活かしながら、自らも勉強もしたいと考え、「丸子企業経営研究会」の名刺を作り、その事業計画書を作りました。その内容をお話したいと思います。

「人生100年、未だ78歳」

60歳は人生の花
 70歳で迎えに来たら留守と言え
 80歳で迎えに来たら早すぎると言え
 90歳で迎えに来たら急ぐなと言え
 100歳で迎えに来たらぼつぼつ考えようと言え
 (仙厓和尚 1750~1837)

「人生100年時代」

四十、五十は
 湊垂れ (ハケ) 小僧
 六十、七十は
 働き盛り
 九十になって
 迎えが来たら
 百まで待てと
 追い返せ



渋沢 栄一 91歳没
 500 社企業設立と
 600 社社会事業に関わる

「人や情報との出逢いが人生を分けた」

岐路	説明	件数	%
出逢い ／決断	紹介や新規情報収集を基に新しい岐路の選択	11	39.3
決断	既知な情報から独自に決断	6	21.4
受入	その時の流れで変化を受入れ	5	17.9
拒否	提案や紹介を拒絶	4	14.2
幸運	正に幸運が天から降りた思い	1	3.6
挫折	努力実らず諦める	1	3.6
合計		28	100

「人生は人や情報との出逢い」

豊かな人生＝出逢い (人・情報) × 決断 ×

明確な目標 (夢)

人生の成功要因

- ▶ 継続性や一貫性を持てるか
 夢や目標・志を持つこと
- ▶ どんな情報、どんな人物と出会うか
 出来るだけ意識して、一流な場所に行く。
 (できるだけ質の高い出会いが重要)
- ▶ 良い決断、悪い決断があるが
 挑戦は必ずなんらかの成果を産む
- ▶ 頑固や過去に囚われた決断はしない
 流れを受け入れることも重要
- ▶ 時には先入観を捨てれるか
 他人の好意や情報を大事にする

「経営理念 (vision、mission)」

人をつなぎ	笑顔と
企業をつなぐ	誠実さで
そして 創る、笑顔	社会を明るく

「事業戦略・健康人生計画」

- ① 「多摩西部コンサルタント協会での活動」
 2021~22 (~79歳) → 2026~27 (~84歳)
- ② MBMC 経営者交流の開催及びその運営
 2019 (77歳、喜寿) → 2026~27 (~84歳)
- ③ 事業承継プランナーとして職業奉仕
 2021~22 (~79歳) → 2026~27 (~84歳)
- ④ 相武カントリーで月2回のゴルフ
 2019 (77歳、喜寿) → 2030~31 (88歳、米寿)
- ⑤ ロータリークラブ活動 (毎週火曜の例会出席)
 2019 (77歳、喜寿) → 2030~31 (88歳、米寿)

「MBMC経営者交流会」に参加しませんか。

○交流会の主旨

- ・ 後継社長や創業起業家等の若手経営者の経営力養成のための講義や討議が主体です。
- ・ 会員同士で経営課題や悩みの解消が可能です。
- ・ 講義終了後は食事歓談しながらの異業者交流です。

○交流会の運営

- ・日時 毎月1回 第2月曜日 18:30 より
- ・場所 日本料理「小田原屋」(緑区橋本 5-8-22)
- ・目的 ①社長力の強化 ②自社の経営改善
③会員の親睦
- ・会費 毎回 6,000 円 (飲食代)
飲食代以外の経費は発生しません

○募集要項

- ・参加希望者は紹介者または下部連絡先まで。
- ・参加資格は経営者、経営幹部であること。
(専門職も可)

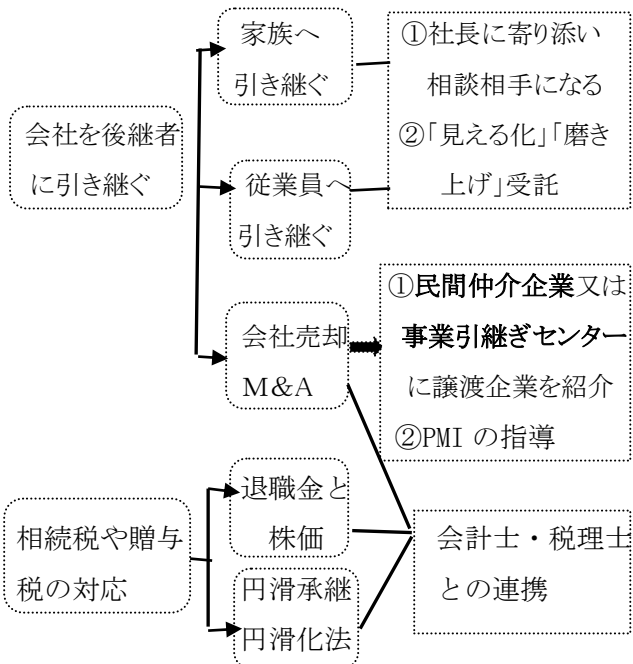
○略歴(丸子 勝基)

1964年 上智大学経営学部商学科卒。
住友スリーエム(現:スリーエムジャパン)にて財務、生産管理、マーケティング、営業等多くの業務を経験する。30年勤続後、
1998年 サンマルコ(株)設立起業。スリーエム施工特約店事業を20年。その後、中堅商社に事業承継。
2019年 丸子起業経営研究会(MBMC)設立。
「MBMC経営者交流会」開催

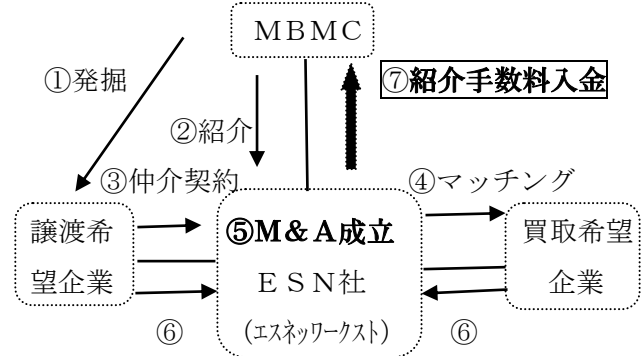
○連絡先

丸子起業経営研究会(MBMC)
TEL 042-400-7528 090-4614-8534
E-mail: info@mbmc.biz URL: <http://mbmc.biz/>

○事業承継支援



○M&A事業ESN社紹介事業



○Target(目標)

- ①満88歳(米寿)になる令和12年まで、健康寿命を維持し、
- ②職業奉仕を实践する
人生百年、百年生きて百点満点、現在78点、めざすは88点

最後に

私の父親の父親、つまり私の祖父は満59歳で亡くなり、父親は69歳で亡くなりました。私は来年79歳です。危ないです。10年単位で寿命が延びているようで、来年は危ない歳です。気をつけたいと思います。

私が今、まだ健康であるということ、健康な体を授かった事を、既に亡くなって久しい両親に感謝を込めることと共に、いつも私の健康を気遣ってくれている妻の洋子に感謝を込めて卓話を終わりたいと思います。ご清聴有難うございました。

●佐々木会長、小崎幹事

- ①皆さん、こんにちは！夏らしくなりましたね。本日の卓話の丸子さん、宜しくお願いします。
- ②8月お誕生日の皆様、おめでとうございます。お祝、ありがとうございます。(佐々木会長)
- ③9月1日のZoom例会に向けて、皆様のご協力、宜しくお願い致します。

●田後 隆二会員

- ①誕生日祝をいただき、ありがとうございます。
- ②丸子さん、卓話楽しみです。

<裏ページに続く>

●甲斐 美利会員

①誕生日を祝って頂き、ありがとうございます。とうとう後期高齢者の仲間入りです。元気で頑張ります。

②丸子さん、卓話楽しみです。

●櫻内 康裕会員

①今日は誕生日祝、ありがとうございます。

②卓話の丸子会員、宜しくお願いします。

●伊倉 正光会員

①会員誕生日祝を戴き、ありがとうございます。

②丸子会員の卓話、楽しみです。

●池之上 和哉会員

誕生日祝を戴き、ありがとうございます。

52才になります。

●丸子 勝基会員

久しぶりの卓話です。宜しくお願い致します。

●老沼 秀夫会員

①会員誕生日祝の皆さん、おめでとうございます。

コロナに負けずに頑張ってください。

②丸子会員の卓話、楽しみに聞かせてもらいます。

●豊岡 淳会員

①8月会員誕生日祝の皆様、おめでとうございます。

②丸子さん「人生100年、まだ78才」楽しみです。

宜しくお願いします。

●諸隈 武会員

①会員誕生日の皆様、おめでとうございます。

②丸子会員、本日の卓話よろしくお祈りします。

●小野 孝会員

①会員誕生日祝の皆さん、おめでとうございます。

②丸子さん、卓話楽しみにしています。

●阿部 毅会員、竹田 繁会員

①丸子会員の卓話テーマ、正しく同感です。数ヶ月先輩のお話を楽しく聴かせて頂きます。

②本日、大勢の誕生日祝、おめでとうございます。

●大井 達会員

①お祝の皆様、おめでとうございます。

②丸子さん、卓話楽しませて頂きます。

まだまだですね。

●横溝 志華会員

①本日お祝の皆様、おめでとうございます。

②丸子さん、卓話宜しくお願い致します。

●取住 悦子会員

①8月誕生日祝の皆様、おめでとうございます。

②丸子さん、卓話楽しみにしています。

●金沢 邦光会員

コロナに猛暑、厳しい日々が続きますねえ。

頑張りましょう！

●阪西 貴子会員

①8月お祝の皆様、おめでとうございます。

②丸子さん、卓話楽しみです。宜しくお願いします。

会長の時間



【Zoom】

新型コロナウイルスの感染者は8月3日、全国で新たに959人が確認され、国内感染者は毎日新聞のまとめでは計4万868人となり、4万人を超えたそうです。感染者が3万人から4万人になるまでは9日間で、初の感染確認から1万人になるまでの期間と比べ、10倍に加速しているとのこと。

会員皆様には私生活でも仕事上でも、感染防止に十分な注意を払っていることと思います。当クラブも十分に注意して、ロータリー活動を続けてまいりたく、引き続きのご協力をお願い致します。

先週、先々週に続き、本日の例会でもZoomによるオンライン中継を行なっています。外部から参加頂いた会員から、ネット接続や画面の切り替え、マイク音質の問題などについて、有意義なご指摘を頂いており、少しずつ改善を行っています。

本日、Zoomに接続している機器は敦煌さんからお借りしているアイパッドで、ネットも敦煌さんのWi-Fiに接続しています。この会場で使用中の

マイクと、Zoom で外部に流しているマイクが繋がっておらず、Zoom の音質が悪いという点も、会場のマイク出力を Zoom に直接出力できるようセッティングして頂いたと伺っています。Zoom のオンライン中継については、敦煌さんの全面的なご協力を頂いて、改善を図っているという点をご報告しておきます。

【四つのテスト】

先週は、ロータリーソングの成り立ちや『奉仕の理想』の歌詞の意味をお話し、今週はその続きで、ロータリーソングでも歌われている『四つのテスト』についてお話ししたいと思います。

『四つのテスト』は、元々存在した『四つのテスト』という文章に、1973年に、相模原南RC会員の水谷さんが作曲したものです。

では『四つのテスト』という文章は何時、誰が作ったかと言いますと、1932年の世界大恐慌の時に、ハーバート J. テーラーという方が考え出したものです。このテーラーという方は、ロータリー創始50周年（1954～55年）の時に、国際ロータリー会長を務められた方です。

テーラーさんは、元々とやり手のセールスマンで、ある大きな企業の次期社長候補の立場にありましたが、ある時、破産寸前の状態にあった会社再建を依頼されました。テーラーさんは悩んだ挙句に、勤めていた会社に辞表を出し、多額の自己資金を投資して、この破産寸前の会社社長に就任し、その際、収入は8割減になったそうです。

世界大恐慌の真っ最中に、破産寸前の会社の舵取りを担うことになったテーラーさんは、社員たちの行動の指針となる社訓を作りました。これが、四つのテストの原型で、皆様もちろんご存知のことと思います。

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

この四つのテストを作った時、ある弁護士がテーラーさんにこう言ったそうです。「もし私がこのテストを厳密に実行したら、私は飢え死にするでしょう。ビジネスに関して言えば、四つのテストは絶対に実行不可能です」と・・・。

私自身が四つのテストを初めて見たのは、20年近く前で、まだ弁護士になって間もない頃でした。もちろん、まだRC会員では無い時で、あるロータリアンの弁護士から、この四つのテストを見せられました。その時の印象は恥ずかしながら、絶対に実行不可能と断言した弁護士と同じ印象を持ち、何きれいごとを、というのが正直な感想でした。

しかしテーラーさんは、この四つのテストを全社員に暗記するように求め、会社のあらゆる面における行動指針としました。その結果、取引先や従業員に信頼と好意の雰囲気や育まれ、会社の多額の負債は5年間で完済され、その後も株主に多額の配当を行うまでに急成長したそうです。

この四つのテストは、テーラーさんが1954～55年度RI会長についた際、著作権をRI移譲しました。そして、2004年規定審議会にて四つのテストを明記した決議が行われ、現在では四つのテストは職業奉仕の理念を端的に表すものとして、世界中の多くの言語で出版され、ロータリーの様々な書籍やネットでも多くの解説がされていますが、一番大切な事は倫理的な誠実さであるとされています。

また「真実かどうか」ということは、単純に事実か虚偽かという意味ではなく、物事の原理・原則や根本原理に適っているかという意味であると。商取引のやり方、法律のあり方などは時代により変遷し、国や地域によって異なるものかもしれませんが、倫理的な誠実さや物事の原理・原則という人間のもっと深くにある本質は、いつの時代もどの国や地域でもそう変わりはないと思われます。

我々が商取引や人間関係を築いていく上で、指針とすべきなのは、このような倫理的な誠実さや物事の原理・原則であるということ、この四つのテストは教えてくれているのだと思います。

(一部要約にて掲載)

<委員会報告>

横江R財団委員長

先週、小野会員より1,000ドルの財団寄付を戴きましたが、先週の例会後と本日も、次の会員より寄付を戴きました。甲斐会員、川合会員、丸子会員、黛会員、櫻内会員、早川会員、横溝会員、佐々木会員、田後会員、小崎会員、大井会員、藤本会員、諸隈会員、河野会員、私・横江にて。ご協力ありがとうございます。

報告事項

1. 第2780地区ガバナー事務所より

①豪雨による九州被害地への義援金協力依頼

コロナ感染拡大の影響で人的援助が期待できない中、義援金という方法を選択しました。既に数地区より支援要請も届いており、当地区で寄付をまとめ、被災地区へ有効に役立てて頂くように致します。皆様のご支援をお願いします。寄付の目安として1人当たり1,000円程度
送金締切日：8月7日

②地区米山奨学セミナー&カウンセラー研修会のご案内

今年度米山委員長と、カウンセラーのご出席をお願い致します。尚、ご都合がつかない場合は必ず代理者のご手配をお願い致します。

日時：8月22日(土) 15:00～セミナー 16:10～カウンセラー研修会 場所：藤沢商工会館 ミナパーク 登録締切：8月14日

2. 米山奨学会より、達成クラブ表彰のお知らせ

貴クラブの寄付金累計額が既定表彰額になり、達成クラブとして感謝状を贈呈致します。尚、感謝状はガバナー事務所に送付し、地区大会(開催可能な場合)での表彰後、貴クラブにお渡し予定です。累計寄付4,000万円達成クラブ

<理事会報告>

①地区より九州被害地義援金 依頼の件。

社会奉仕予算より29名分 29,000円を送金。

②9月1日(火)オンライン Zoom例会について。

12:30～開始。当日の卓話は無し。進行及び内容の検討と打合せ。

③10月～市民会館例会場 予約について。

市民会館はWi-Fiが無いいため、Zoom併用ができないので、今年度は全て「敦煌」にて実施する。

●例会場 中国名菜「敦煌」

〒252-0231 相模原市中央区相模原 2-13-1
TEL 042-756-6555 FAX 042-756-6559

●事務局 〒252-0239 相模原市中央区中央 3-12-3

相模原商工会館 3 F

TEL 042-758-5750 FAX 042-758-1605

●E-mail: rotary@tbg.t-com.ne.jp

<8月のお祝・会員誕生日祝>



- ・甲斐 美利会員 8月 5日
- ・田所 毅会員 8月 18日
- ・池之上和哉会員 8月 21日
- ・伊倉 正光会員 8月 23日
- ・田後 隆二会員 8月 26日
- ・佐々木敏尚会員 8月 27日
- ・櫻内 康裕会員 8月 30日



次回例会プログラム

8月18日クラブフォーラム「IMについて」

担当：櫻内IM実行委員長

例会記録

点 鐘 12時30分

場 所 「敦煌」

司 会 池之上 和哉 副SAA

斉 唱 「国歌君が代」「四つのテスト」

ソングリーダー 伊倉 正光会員

出席報告

会 員	出席(出席対象22名)	事前メイク者
29名	25名	0名
欠席者	本日の出席率	修正出席率(7/21)
3名	89.29%	92.60%

●例会日 毎週火曜日 12:30～13:30

●編 集 親睦活動委員会

委員長：阿部 毅 副委員長：河野 崇